

温泉の保護と利用に関する懇談会（第1回）（議事要旨）

1. 日時：平成15年8月29日（金）14:00～16:00
2. 場所：経済産業省別館1020会議室
3. 出席委員：市毛良枝、高橋 保、竹村節子、原田純孝、広庭忠雄、深澤喜延、山村順次、渡辺 修、渡辺政治

4. 議事

会議は、公開で行われた。

- (1)懇談会の趣旨・目的等について
- (2)今後の進め方について

5. 議事要旨

冒頭、小野寺自然環境局長より、当懇談会では温泉に関する広い自由な議論をお願いする旨の挨拶があった。

座長の選出について諮られ、渡辺修委員が座長に選出された。

事務局から配布資料に沿って懇談会の趣旨・目的、温泉法に関する主要データ等の説明があった後、各委員から本懇談会で検討すべき事項等について次の意見等があった。

- ・昔からの温泉と最近の都市型温泉（大深度掘削）とはその性格が異なるので、分けて考えるべきではないか。また、温泉の掘削や利用の実態を調べる際も同様に分けて行うべきではないか。
- ・公取委による温泉表示の問題指摘は、旅行業者等の宣伝活動に対してのものであり、温泉法の掲示とは別の問題であることを認識した上で、本懇談会でも検討するべきではないか。
- ・温泉法の掲示に関しては、温泉成分の分析地点、時期、泉質表記方法等について検討するべきではないか。
- ・温泉の飲用や温泉水の販売、タンクローリーによる運搬利用についても議論するべきではないか。
- ・温泉に限られた資源であることを理解し、温泉の持続的な利用について議論するべきではないか。
- ・国民保養温泉地の活性化が大切であり、全国的な調査をして検討するべきではないか。

懇談会の今後の進め方については、当面、次のとおりとされた。

- ・第2回：10月10日（金）14:00～  
委員からの報告等（大野委員、高橋委員、広庭委員、渡辺(政)委員）
- ・第3回：11月11日（火）13:00～  
委員からの報告等（上記以外の委員）